

科目名	子どもの成長と発達						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	後期			
担当者名	保育学科教員	関連する資格					
授業概要 人間の生涯の発達の中で、著しい成長・発達を遂げる新生児期から幼児期までの子どもに視点をおき、子どもの身体の仕組みや心身の発達、生活習慣等について理解する。さらに、現在の子どもを取り巻く子育てや保育事情を理解し、子どもが心身ともに豊かな成長・発達を遂げていくための環境について学ぶ。また、子どもの成長・発達と遊びの重要性を理解し、具体的な子どもの遊びを実践的に学ぶことを目的とする。							
到達目標 ・乳幼児期の子どもの成長・発達について説明できる。 ・子どもの成長・発達を促す環境整備について説明できる。 ・乳幼児期の遊びの意義を理解し、専門教育の中で具体的な遊びを実践できる。 ・子どもを取り巻く子育てや保育事情を理解し、専門教育の学びに活かすことができる。			成績評価方法 授業態度及び授業参加度、レポート課題等によって総合評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		10
プレゼンテーション				○	○		10
グループワーク			○		○		10
演習	○	○	○				10
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) 人間と生涯発達について							
乳幼児期の子どもの発達について（新生児期～幼児期）							
2) 人間と生涯発達について							
児童期以降の人間の生涯にわたる発達について（児童期～老人期）							
3) 乳児期の精神（こころ）の発達 I							

4) 乳児期の精神（こころ）の発達Ⅱ	
5) 乳幼児期の生活習慣について	
6) 子どもの育つ環境について 保育所・幼稚園の機能	授業内レポート
7) 子どもの育つ環境について 付属幼稚園見学	演習
8) 子どもの健康と食生活	
9) 子どもの育つ環境について 家庭・地域の役割と連携	
10) 子どもの発達と運動遊びの意義及び実践	演習
11) 子どもの発達と表現遊びの意義と実践	演習
12) 子どもの発達と表現遊び（製作）の意義と実践	演習
13) 現在の子どもを取り巻く子育て・保育事情の現状と課題Ⅰ	
14) 現在の子どもを取り巻く子育て・保育事情の現状と課題Ⅱ	
15) 子どもの成長・発達の学びから専門家としての関わり方を考える	グループワーク プレゼンテーション
授業外学習	
乳幼児期の子どもに関心を持つ。 配布資料は活用できるように、ファイルに整理すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
必要に応じて、資料を配布する	栄養学各論
備考	